

貴重な生き物 カブトガニの保護活動

牧島地区の海岸周辺は『伊万里湾カブトガニ繁殖地』として国の天然記念物に指定されており、カブトガニを保護するため、さまざまな活動をしています。

多々良海岸周辺(牧島地区)の清掃は、市カブトガニを守る会、伊万里高校、牧島のカブトガニとホテルを育てる会、海洋少年団によって行われています。その結果、産卵に適した海岸の環境が保たれていて、産卵に訪れるつがい数は、ここ数年の約600つがいに対して、昨年は1,512つがいと倍増しています。

7月16日にカブトガニの産卵を観る会を開催し、今年は34つがいの産卵の様子を観察することができました。また、幼生の放流会を行い、カブトガニの館や伊万里高校理化・生物部、牧島小学校で飼育した3,130匹の幼生を放流しました。

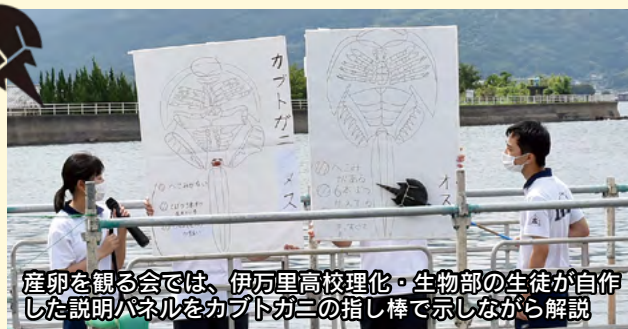


幼生の体長は6mmほど

無事に大きくなって、10数年後、産卵に帰ってくるように願いを込めて放流しました



清掃は、7月末～8月にカブトガニが産卵に訪れるため、毎年6・7月に行っています



産卵を観る会では、伊万里高校理化・生物部の生徒が自作した説明パネルをカブトガニの指し棒で示しながら解説



産卵を観る会では、貴重な産卵を間近で観察することができます



今年の産卵を観る会は、天候に恵まれ波も穏やかでした

情報発信



ホームページ



フェイスブック



ツイッター



ライン



インスタグラム



人の動き

令和4年8月1日現在

- 人口 52,938人 (- 15)
- 男 25,693人 (+ 1)
- 女 27,245人 (- 16)
- 世帯 23,598世帯 (+ 4)
- () は前月比

この冊子は、1部当たり約25円で作成しています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

夏と言えば、高校野球！甲子園。有田工業高校球児の皆さん、春夏連続の甲子園出場、おめでとうございます。8月6日、3年ぶりに一般の観客が入って、第104回全国高等学校野球選手権大会が幕を開けました。毎年、感動をもらうのが選手宣誓。横浜高校の玉城主将は、全国の高校球児を代表し、一言一言に球児の思いをのせて、宣誓されました。そこには、さまざまな人への感謝の気持ちがあり、しっかりと込められていました。また、試合でも数々の感動がありました。まだまだ暑い日は続きますが、甲子園での高校野球の終わりとともに、夏の終わりを感ずしてしまいます。季節はそろそろ秋。広報伊万里は、四季にあわせて配色を変えていますので、9月号から一足お先に、秋カラーです。(美)

編集室から